



特定医療法人社団

# 鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス  
<http://www.hoyukai.org/>

第165号

発行:2020年1月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会

## 年頭所感

～ 【人徳】 を高めるための一つの心得 ～

医療法人社団鵬友会 常務理事 池島 守



新年あけましておめでとうございます。  
旧年中は、皆さまより格別なるご支援とご厚誼を賜わり誠にありがとうございました。

昨年を振り返ってみますと、国民が燃え上がった「ラグビーワールドカップ2019」で“一つになる”というフレーズからONE TEAMが流行語大賞に選ばれました。当法人も、チーム一丸になってトライ（目標達成）できるように日々精進してまいります。

さて、1年前の第153号ニュースレターで“【人徳】の高い人材”について書かせていただきましたが、早いもので今年も原稿依頼がきました。今回は前回の続きで、【人徳】を高めるための一つの心得をご紹介させていただこうかと思えます。

上司が職員に仕事を命ずるときには、必ず職員が持つであろう、「なぜ・いま・こんなことを、自分がやらなければならないのか？」という“疑問”に対する理由を説明しなければなりません。仕事を進めるのには、何といたっても職員の「理解と納得」そして「協同の心」が必要だからであります。

とても古い話しですが本当にあったことで、アメリカのH工場で職員の“疑問”が大きな問題になったことを聞いたことがあります。工場で働く人たちが、一斉に仕事をしなくなった。ストライキではない。やる気がなくなったのである。工場長は良心的な人で社長にすぐ報告をし、「すべて、私の責任です。」と謝った。いろいろな調査をした結果、

- ・働く職員たちが、自分の仕事の意味がわかっていない。
- ・それは、工場長から現場に達する指示命令、あるいは情報の提供などがきちんと伝わっていないためだ
- ・その理由は、中間管理職にある
- ・中間管理職は、情報を自分で分析し、「これは伝える必要がない」「これは社の秘密だ」「こんな

ことまで職員に知らせる必要はない」などと、自分で判断して情報を止めていた

- ・つまり、本来滑らかにすべき伝達のパイプが中間管理職の勝手な判断で、詰まってしまった
- ・改善すべきは、コミュニケーション回路の良好なパイプとしての機能である。

という結果でした。これは単に中間管理職だけの責任ではなく、工場長は人が良いので、中間管理職に「それぞれの職場の管理は、君たちに任せる。もし何かあった時は私が責任を取る。」と告げていたのである。ようするに、自分が中間管理職に全てを任せること、責任も逃げていたということでした。以後、工場長は情報の伝達、指示命令を出したあとに「必ず職員が、理解・納得・協力するようにリーダーシップを発揮してほしい」と頼んだ、という話しであります。

このことから私も、各施設の事務部長には必ず職員の理解・納得・協力が得られるような環境を作って運営にあたってほしいと常日頃から話すようにしています。また、指示をするときは【的確にわかりやすく】を心がけています。中には、「これやっという」と何の説明もなく指示する管理者や、説明に主語がなく早口で指示する管理者もみうけられますが、これではダメです。職員に的確にわかりやすく説明することで、職員から信頼され、【人徳】も上がり、働きやすい職場にかわるはずで、これは、管理職、中間管理職に限らず、先輩と後輩、一般職員同士でも言えることです。ぜひ実践してみてください。まずは、こういった細かいことから実践し法人内で浸透していくことで、一人でも多くの人徳の高い人材を育成できればと考えています。

末筆ながら、本年も新たな活躍に向けて職員一同邁進してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 令和元年度

### 看護師長等合同研修を開催しました。

R1.12/21 (土) 湘南泉病院 会議室



池島 常務理事

令和元年12月21日(土)9時~16時、鵬友会各施設の看護師長が参集し、鵬友会合同看護師長等研修が行われました。

まず初めに池島常務理事の講話の中で、看護師長等に期待することとして『管理者の役割』として①部下の管理 ②チーム内外の人間関係の管理 ③部・課の目標達成のための業務の企画・遂行 ④理念・ルールの浸透 『管理者の心得』として①チームワークをよくする働きかけ ②話しやすい、コミュニケーション力のある管理者 ③部下の働く意欲を高める動機づけ ④部下に寄り添って現場指導 ⑤働く環境を整備の各項目を具体的な例を挙げながら述べました。

続く、横浜ほうゆう病院 原科看護部長より、『多様化する医療環境に対応する管理者とは』をテーマに、『医療環境の変化』『看護師長の能力と役割』『看護管理の基本』について説明し、看護管理者に求められている役割が拡大していることや、地域まで視野を広げた看護管理も求められていることなどを述べました。

後半のグループワークでは、『管理者として人材育成について、事例を通じて自己の課題とその取り組みについて』をテーマにグループワークでディスカッションし、学びを深めました。



原科 看護部長



全体風景



【グループワーク】



【グループワーク】



## クリスマス会

ほうゆう保育園

12月25日、ほうゆう保育園でこの時期恒例のクリスマス会が行われました。今年も、プロのバイオリンとフルート奏者の方に演奏していただき、クリスマスメドレーやジブリの曲、情熱大陸など…。素晴らしい時間を体験することが出来ました。

もちろん、サンタさんも来園し、プレゼントをもってきてくれました。



## 新しい遊具です！！

ほうゆう保育園

子ども達の大好きな絵本の中の一場面をモチーフにした「はらぺこあおむしのりんごの家」が園庭に設置されました。フルーツ型の半透明の窓がとても可愛らしく、子ども達はさっそく中に入ったり窓からのぞいたりして楽しんでます。

